

## ご協力ありがとうございました

「夏休みになったらねえ、〇〇に行くんだよー」「夏休み、早くこないかなあー」最近教室を回っているとこんな声がたくさん聞こえるようになりました。コロナ禍の中で漠然とした不安を常にかかえながらも、明るく元気に学校生活を送ってくれた子どもたちは本当にすごいと思います。そんな子どもたちに夏休みが近づいてきました。自分が子どものころを振り返っても、「な・つ・や・す・み」の響きは何か特別で、きらきらとした魅力のあるものだったと感じます。今年の夏休みは、いつも以上にいい休みになることを願わずにはいられません。私自身は、もうすぐ1学期が終わるという感覚が今年は未だにもてないでいます。3月に臨時休業がはじまったところから、ばたばたと落ち着かない毎日になってしまったからなのかもしれません。

本来なら、先週の水曜日に1学期の終業式。そして次の日から夏休みに入って東京オリンピックの熱戦が始まる・・・はずでした。しかし、そんな景色が全く想像できないほど、それとはかけ離れた1学期になってしまったことをとても残念に思っています。ほぼ常時着用のマスク、朝の健康チェック、ひんぱんな手洗い、全員前を向いて静かに食べる給食、机を離す生活、学習の内容ややり方の制限、思い通りにできない児童会活動など、今も子どもたちに不便な思いをさせてしまっています。今の生活のしかたが、今後ずっと“新しい生活様式”として当然のことになってしまうとしたら・・・、それこそ大変なことです。

それでも、幸いなことに6月に全校登校が再開されてからは順調に学習を進めることができ、行事の見直しも行ったことで、9日間の夏休み短縮（子どもたちには申し訳ないですが）でなんとか本年度一年間の学習の見通しも立ちました。今後、教室に座り教科書をひたすら進めるだけの学習にならないよう気をつけながら学習を進めていきたいと考えています。各学年が計画して実施している例年の行事についても、2学期以降は感染防止を考えながら、形を変えてでもなんとかやっていきたいと考えております。

保護者の皆様には、3月以来、臨時休業、分散登校、朝の健康観察カードなど様々な面でご協力をいただきました。なんとか1学期を終了することができましたのも、保護者の皆様のおかげと改めて感謝申し上げます。

毎夕伝えられる新規感染者数を見れば、状況はまだまだ暗いトンネルの中ですが一刻も早くこの事態が終息し、子どもたちが子どもらしく過ごせる状態になってほしいと願うばかりです。（と、学校だよりで書くのも何回目でしょうか）臨時休業中は子どもたちにとっては学校が休みの日ではありましたが、社会全体が大きな不安や危機感に包まれている中で、決して安心して過ごせる日々ではなかったと思います。その状況が大きく変化したわけではありませんが、せめて夏休みは、ゆったりとした子どもらしい時間を過ごしてほしいと願っています。

## 通知票について

学期末にはつきものの通知票ですが、すでにご連絡申し上げました通り、1学期末についてはございません。本年度は、10月、3月の2回配付の予定です。10月には合わせて保護者懇談会も行う予定です。よろしくお願い致します。

**地域の皆様、保護者の皆様、毎朝児童の見守りをしてくださっている皆様、ボランティアの皆様、新型コロナウイルスが社会に大きな不安を与えている状況下においても、**

**変わらぬご協力、ご支援をいただいておりますことに感謝申し上げます。**

**2学期以降もまだまだ厳しい状況が続くと思われませんが、**

**皆様のお支えのもと、学校教育を継続できますことを大変心強く思っております。**

**今後とも、よろしくお願い申し上げます。**